

～地域と共に ころ豊かに たくましく～



# 西紀っこだより

令和2年度 第6号(6月号3) 令和2年 6月12日発行

丹波篠山市立西紀小学校 丹波篠山市乗竹650

TEL 593-0024 FAX 593-0249

ホームページ <http://nishiki-el.sasayama.jp/>



## さあ本格的に学校再開です!



6月1日から再開した学校生活、2週間が終わりました。

はじめの1週間は、登校 → 給食 → そうじ → 5時間授業… と一步一步の再開でした。私たち教職員も、ピリピリとウィルス対策や子ども達の様子を観察していました。今週は、時間割は平常と同じでしたが、教室では楽しい内容が多目だったり、宿題の量を少なめに調節したりと、子ども達の様子を見ながら進めてきました。

およそ3ヶ月の長い休校生活から、学校生活を2週間過ごしたお子様の様子はいかがでしょうか。

もちろん、学校生活は楽しいこと笑い合うことばかりではなく、苦しいこと難しいこと悔しいこともあります。それでも、日々成長し賢くなってできることが増えていく自分と出会えるから、子ども達は毎日学校に来てくれるのだと考えています。

コロナウィルスの不安に加えて熱中症の心配…保護者の皆様も次々と不安は尽きない中、お子様を元気に学校に送り出していただき、ありがとうございます!もちろん、無理なことはさせませんが、いよいよ来週からは、「学校の新しい生活様式」に基づき、コロナ対策をしながら 通常通りの学校生活を再開します。よろしくお願いたします。



## 1年生は「はじめて」に挑戦中...

小学校生活を入學式以来、やっとスタートさせた1年生5人ですが、休校中も家で少しずつひらがなや数字の勉強をしたり、春のしぜん観察やアサガオの種をまいたり、ちゃんと「1年生」をがんばってきました!

でも、家ではできなかったこと…それは学校生活です。幼稚園でも様々な体験をしていたけれど、やっぱり小学校ではひと味違います。生活科の学習では、「職員室に行って用事をしてくる」チャレンジに取り組みました。鍵を借りてくる・画用紙をもらってくる等々…みんなでワイワイ行くのではありません。きちんと入口で「失礼します」とあいさつをして、用事を言って、「ありがとうございました」とお礼を言って帰ってくるのです。練習したり、友だちパワーをもらったり…

できたときの喜びが、次のチャレンジのエネルギーになりました。

## 5年生は「自分の学び方」を研究中...



5年生は算数・国語の単元テストを前に、自分で決めた「テスト勉強」に取り組みました。

「どうやったら100点取れるかな?」と考えた時、あれもこれも…という子ども達に担任は、「色々な方法を全部できることは素晴らしいですが、人によってできる量が違ったり、得意・不得意もあります。勉強量も人によって違います。自分でテスト勉強のメニューを考えてみましょう。」と投げかけました。テストの後には、思った結果を出せなかったことは反省し、それをふまえて次の計画も立てているようです。

少しずつ自分の未来について考え、成功や失敗から自分に合ったやり方で自主的に学習する態度を身につけられるよう「夢を叶える」学び方の取組を進めています。



## 市から「熱中症対策」が届きます

梅雨に入って太陽が隠れる日もありますが、蒸し蒸しと暑く「熱中症」には油断のない毎日です。1学期が長くなった分、市から様々な対策がとられます。

まず1つ目は、水分補給です。マスクをしているため喉の乾きを感じにくいですが、持たせていただいた子ども達の水筒のお茶は減っているでしょうか。今年もお茶のなくなった子に「丹波篠山茶」を、午後から補給する取組ができることになりました。コロナウィルス対策をしっかりと取りながら、来週より進めていきます。

2つ目は「冷感タオル」です。登下校や学校生活で首回りを冷やすための「冷感タオル」を市から買ってもらえることになりました。ご家庭でもすでに用意されているかもしれませんね。届くまではぜひ使わせてください。

この他にも「ミストシャワー」の追加設置等、順次進められます。学校も子ども達の顔を見ながら、しっかりと対策を考えていきたいと思えます。

## 「学校の新しい生活様式」が始まります



左は、出勤した先生とちょっと早く到着した子どもが、仲良く並んで手を洗っている姿です。ウィルスを持ち込まないために、学校に着いたらまず手を洗うことにしています。

2週間たっても、まだうっかり手を洗わずに教室に入ってしまう子もいます。きっと、子ども達の手にはウィルスは付いていないでしょう。けれども、これからの「コロナウィルスと共に生きていかなければならない時代」に「手を洗う習慣」や「手を洗う方がよい」と判断して行動する力」は大切です。

学校生活は通常の教育活動を文部科学省・丹波篠山市教育委員会のガイドラインを基に感染予防に努めながら進めていきます。

生き方を学ぶご家庭でも、集団生活を学ぶ学校でも、両方から自分の身を守る「新しい生活様式」を繰り返し教えていきましょう。

## 今日の1枚 VS ホームページ?!

玄関外の掲示板に、校長が見かけた子ども達の様子を写真に撮って貼っています。授業中はもちろん、休み時間や給食でも、様々な場面で子ども達がんばっていることに、写真を撮りながら改めて気づきました。1日終わったら、古い写真はまとめて玄関中の掲示板に掲示しています。



教頭はホームページに、行事や子どもの学びの様子をアップしています。アナログ（印刷物）とデジタル（ホームページ）での情報提供です。どちらにも良さがあります。便利な方でご活用いただければと思います。（両方だともっとうれしい♪です）

いよいよ高学年は、教室で一人一台タブレットを使う時代に入ります。臨時休校で一気にネットを利用した学習を進める気運も高まりました。デジタル機器は、楽しむだけでなく学習のためにも使います。

「学校だより」は月1回のペースに戻りますが、学級通信等で学校の様子をお伝えしていきたいと思えます。どうぞ、ご家庭からも、お子さんの様子や心配に感じておられることなど、遠慮なく学校へお知らせください。よろしく願いいたします。